

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員受験申込書

全日本空手審判機構公認審判員規程に則り、下記の通りライセンス受験を申し込みます。

JKJO公認審判員規程別1
受験者→講習会開催者→JKJO本部

登録料 1,000円

受験日	西暦 年 月 日 ()	会場名	
開催地区	北海道 ・ 東北 ・ 甲信越 ・ 北陸 ・ 関東 ・ 中部 ・ 関西 ・ 中国 ・ 四国 ・ 九州		

* S級(準S級)受験の方はS級専用申込書にてお申込みください。* 前回受験で不合格となった方は4か月期間を置いてから再受験してください

受験級	A B C D E 級 (○を付す)	受験区分	新規 ・ 再受験 ・ 更新 (○を付す)
登録No	—	所属道場	
ふりがな		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		性別	男 ・ 女
		年齢	※記入必須 歳

カラー写真1枚
3×4cm・上半身
正装・脱帽
審判シャツ・JKJO裃着用
裏面に名前記入

写真の貼り付けが無い場合
ライセンス発行が出来ません
ので、次回再受験となります

住所	(〒 都道府県)
電話番号	— —
メール	
職業	空手段位 ※記入必須 級・段
空手修行歴	年 月
現ライセンス	A B C D E 級 (○を付す)
現ライセンス取得年月日	西暦 年 月 日
現ライセンス認定検定員名	(審判認定証参照)
現ライセンス取得後の講習会参加日	※記入必須 * E級受験の場合は、1回目と2回目の講習日を記入
西暦 年 月 日	西暦 年 月 日
指定大会・公認大会審判経験	
西暦 年 月 日	大会名 主審 ・ 副審
西暦 年 月 日	大会名 主審 ・ 副審
西暦 年 月 日	大会名 主審 ・ 副審
B級以上受験者：救急セミナー参加経験	※B級以上は3年に一度受講義務になります。未受講の方は受験・更新できません。
※B級以上記入必須	西暦 年 月 日 場所
S級受験者：検定員補助経験	
西暦 年 月 日	場所
西暦 年 月 日	場所
備考	*道場の移籍、改名、住所変更等が生じた場合、記入してください

(以下、検定員記入欄)

JKJO全日本空手審判機構 公認審判員試験 合否判定

※実技試験検定員が3名以上いる場合、初めの2名のお名前がライセンス証に印字されます。

実技試験	検定員名	1	2	補助検定員名 (A級)	
※減点方式のため、問題が無ければ「5」に○を付けてください(例：ライセンス不携帯の場合減点1で「4」に○)					
服装 (審判認定証の携行・ネクタイ・シャツ・ズボン・頭髪の色・過度な化粧・装飾品)		5	4	3	2 1
入退場時の動作		5	4	3	2 1
反則、有効技に対する反応 (アクシデントに対する対応も含む)		5	4	3	2 1
判定時の動作(笛・旗)・姿勢(副審席・主審の場合立ち位置)		5	4	3	2 1
主審・副審間の連携 (試合中反則選手への警告等)		5	4	3	2 1
判定の正確性		5	4	3	2 1
※筆記試験/90点以上合格 ※実技試験/A級27点以上・B級26点以上・C級25点以上合格					
筆記試験	立会検定員名	点数	点	実技試験	点
				総合評価	合格・不合格
特記事項					

右の公認審判員受験者は

公認審判員規程の要約

- ライセンス受験する場合、この受験申込書とライセンス登録料を締切日までに講習会開催者に提出しないと受験できない。
- 講習会当日、公認審判認定証を携行しないと、不合格となる。審判員は、大会、講習会で常に「公認審判認定証」を携行すること。
- ライセンスの有効期限は **2年間** です。失効する前に必ず更新受験を行うこと。
- 各ライセンス受験資格と試験内容
S級：A級取得後、公認大会審判経験2回以上、講習会において検定員の補助業務経験2回以上、所属地区の検定員の推薦を受けたものが受験できる。筆記試験と実技試験。
A級・B級：筆記試験と実技試験
C級：空手修行黒帯以上。但し、所属道場責任者の推薦がある場合空手修行5年以上か2級以上の者も受験可。筆記試験と実技試験。
D級・E級：高校生以上かつ4級以上のものが受験資格を有するが、所属道場責任者の推薦がある場合その限りでない。実技試験。
- ライセンス取得後、次級受験には、1回の講習会受講が必要。但し、E級受験は講習会を2回受講すること。
- ライセンス受験で不合格となった場合、再受験は前回受験から4か月期間を置くこと。
- D級以上の審判員は年に2回以上、公認大会で審判経験を積むこと。
- B級以上の審判員は救急士による救急救命セミナーを3年に1度受講すること。